

2020年度ビジティング・リサーチャーが 決定しました

第5期VRはモンゴルからトゥメンナス・ゲレンク (Tumennast Gelenkhuu)先生です！

コロナ禍が続いていますが、アジア国際社会福祉研究所は2020年度ビジティング・リサーチャー論博プログラム(奨学金付き)を例年通り4月1日に募集開始し、4名の候補者から第5期ビジティング・リサーチャー(VR)を選考しました。

ご本人の希望もあり研究所では「トゥメン先生」と呼びます。トゥメン先生はモンゴル国立大学社会科学部(School of Social Science, National University of Mongolia)で教鞭をとられています。先生は「コミュニティ・ソーシャルワークにおける異文化適応力～モンゴル遊牧民の場合(Cultural Competence in Social Work with Communities: In the Case of Mongolian Nomadic Community)」というタイトルで、研究所が進める仏教ソーシャルワーク(Buddhist Social Work)の議論を活かし、モンゴルの遊牧民コミュニティへの調査をもとにソーシャルワークに必要な異文化適応力の研究を進めていらっしゃいます。

コロナ禍が長期化の様相を見せていますが今年度もプログラムを存続できることに感謝しつつ、今後の情勢を慎重に見極めながら安心・安全を第一にプログラムを進めてまいります。

◆アジア国際社会福祉研究所のニュースがSナビにて月1回程度配布されております。